

# 援護が必要な全ての人に安心した年末年始を

## 日本共産党名古屋市議団が健康福祉局に要請（12月19日）

日本共産党名古屋市議団は12月19日、健康福祉局長に年末年始援護事業について要請、懇談を行いました。

### 第42回援護事業。まずは臨時相談へ

名古屋市では1977年（昭和52年）から安定した住居を持たない日雇労働者などを対象にした年末年始援護事業を行っており、今年で42回目となります。最近ではホームレスの方が主な対象となっていますが、臨時の相談窓口を開き、無料宿泊所を開設しています。

ただし、今年は12月29日の中村区役所での臨時相談所は開設されず、各区役所で12月28日まで、年末臨時相談が実施されます（下記「援護対策」参照）。

臨時相談では、年末年始期間に宿泊場所などに困窮する人に、無料宿泊所への入所予約や、施設入所、生活保護などの相談に応じます。

### 無料宿泊所も用意（定員120人）

12月29日から1月4日までに、資力がなく泊まるところのない人を対象に、120人分の無料宿泊所が用意されます。宿泊場所・食事・日用品の提供、入浴、医療相談のほか、結核検診、成人病健診も受けられます。

一時期よりは落ち着いてはきたものの、まだ生活と住まいに困っている方は少なくなりません。必要な方にはぜひ相談に行くようおすすめください。

#### 2018年度の年末年始援護対策

##### (1) 年末臨時相談の実施

- ・場所 区役所民生子ども課・支所区民福祉課
- ・期間 2018年12月20日(木)、21日(金)、26日(水)、27日(木)、28日(金)
- ・時間 午前9時～午後3時
- ・内容 ①ホームレス自立支援施策、生活保護の相談・援護  
②無料宿泊所の入所予約

##### (2) 無料宿泊所の開設

- ・場所 旧船見寮(港区船見町46番地)
- ・期間 2018年12月29日(土)～2019年1月4日(金)朝
- ・人員 120人
- ・対象 年末年始に資力がなく泊まる所がない人

#### 過去の実績 (人)

年度	2001	2005	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
相談件数	808	405	199	169	115	98	102	88	34	29
宿泊者数	733	369	173	153	107	93	89	78	64	55

※2012年に開始した各区役所での事前相談数は含まない。



名古屋市長  
河村たかし様

2018年12月19日

日本共産党名古屋市議員団  
団長 田口一登

**困窮者支援も含めた年末年始援護対策の充実に関する申し入れ**  
市民の健康と暮らしを守る日々の取り組みに心からの敬意を表します。

「ホームレスの自立の支援などに関する特別措置法」が2002年の成立から16年が経過しました。成立当初、全国で路上生活者として確認された数は2万人を超えていましたが、今年に入り4977人と大きく減少し、名古屋市でも、年末の臨時相談件数はピークであった2001年の808人から昨年は29人に減少しました。相談件数の減少を踏まえて、今年の中村区役所での「臨時相談所」は開設せず、各区役所及び船見寮現場で対応する方針となりました。

名古屋市が長年取り組んできた、日雇労働者等の宿泊場所等に困窮する方々への無料宿泊所の提供や臨時相談所の開設などの年末年始援護施策は、民間団体のホームレス支援、越冬活動とともに、セーフティーネットとしての役割を果たし、ホームレスからの脱却と生活改善につながってきたと考えます。

路上生活者の数は減少していますが、一方でホームレスの高齢化、長期化や、終夜営業の店舗で寝泊まりし、都会を漂流するように暮らしているハウジングブア、ひとり親世帯等「困窮している」ことを発信しにくい人々が増えているともいわれており、支援策が求められています。

第4期ホームレス自立支援実施計画が策定される時期です。改めて「年末年始援護対策」の継続と困窮者支援の拡充について、以下の諸点を申し入れます。

#### 記

1. 援護が必要な方すべてが安心して年末年始を過ごせるように、民間の支援団体とも連携し、無料宿泊所と年末臨時相談窓口に関する広報をしっかりと行うこと。支援から漏れる人が出ないように対策を講じること。
2. 精神保健福祉士などの専門職による支援が受けられるように努めること。結核検診、歯科健診も含め健康チェックに努め、必要な受診につなげていくこと。
3. 船見寮や一時保護所等を含めた緊急時の宿泊場所を現在の時代にふさわしい水準で提供すること。
4. 12月を路上生活者以外に終夜営業施設や店舗などで過ごす困窮者、8050問題を抱える世帯、ひとり親世帯も含めた貧困の実態把握と相談者の掘り起こしを行い、困窮者支援を進める集中期間とすること。